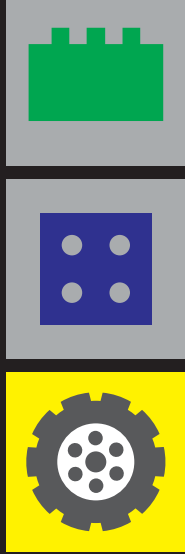




MINDSTORMS™

©LEGO and the LEGO logo are trademarks of the LEGO Group. ©2003 the LEGO Group.



Jin SatoのMINDSTORMSな日々 第24回

ロボットアームを 作ろう (パート2)

じん さとう
Jin Sato

さて、今回は前回に引き続いてロボットアームの作成について書いていきたいと思います。その前に2002年12月にSDK 2.5がレゴ社の公式サイトで公開されました。今まで公開されていなかったUSB IR-TowerのAPIや2002年発売されたSpyboticsなどもサポートされましたが、それだけにとどまらず、USB IR-TowerのドライバやRCXにダウンロードするファームウェアなど、製品版を購入しないと含まれていなかったソフトなどが含まれるようになりました。

そこでロボットアームの開発にもSDK 2.5を使うことにして、SDK 2.5のインストールを行ってみましょう。



SDK 2.5のインストール

はじめに、SDK 2.5をダウンロードする必要があります。URLは「<http://mindstorms.lego.com/sdk2point5/default.asp>」でZIP形式で圧縮された8.2MBのファイル

です。

ZIP形式で圧縮されていますので、それを解凍するためのソフトが必要です。私は<http://www.winzip.com/>より、WinZipをダウンロードして解凍しました。

解凍すると「LEGO Mindstorms SDK25.exe」という名前のファイルがで

きますので、それを実行することでインストールを進めることができます。

実際の様子は、インストール途中の代表的な画面とコメントをご覧ください(画面1~5。なお、私はWindows 2000を搭載したパソコンを使っています)



画面1 インストール開始

インストールを開始すると画面1が現れます。インストールする場合は、他のソフトウェアなどは全部終了しておいたほうがよいでしょう。私も原稿を書きながらインストールをしたら、ソフトを終了させてくださいというメッセージが表示されました。



画面3 インストール先を選ぶ

インストールするディレクトリを選択します(画面3)。特に指定しない場合は「C:\¥Program Files¥LEGO Software」のディレクトリの中に「LEGO Mindstorms SDK」というディレクトリが作られ、そこにインストールされます。



画面2 SDK 2.5になった事が分かる

画面2ではSDK 2.5でSpyboticsをサポートしたことが伺えます。この画面の後、ライセンスやインストールに関する情報の画面が表示されます。



画面4 インストールするタイプを選ぶ

インストールするタイプを選択します(画面4)。ここでは「Custom」を選んであります。なぜならば、すべてのファイルをインストールするためです。